

さいわい 区 

幸 区

さいわい 区は市内7つの区の中で最も面積が小さい区ですが、区の玄関口ともいえる川崎駅西口をはじめ、区のあちこちで再開発が進み、まちの様子も変わってきています。



ミュージア川崎シンフォニーホール

まちの移り変わり

川崎駅西口再開発と
音楽のまち・かわさき

●再開発ってなに？どうしてするの？

昔に通った道を久しぶりに訪れた時「前に来た時とちょっと様子が違うな…。そうか、ここに何軒かあった古い家やお店がなくなって、大きなスーパーとマンションになったんだ。別の場所みたいだなあ。」と思ったことはありませんか？建物が一つ変わっただけでも、感じが変わって見えます。便利になっていけば、また来てみたいと思うことでしょう。

そこがたくさんの人が乗り降りする駅の近くで、会社があり、働く人がたくさん来るお店が集まる場所だったら、これからお店を持つ人も、今までお店を持っていた人もそこにお店を開きたいと思うし、住んでみたいと思うのではないのでしょうか。

こうしたきっかけで、もともとの古いビルや家々を新しく作り変えて、にぎわうまちにしたり、住みやすいまちにしていこうと再開発といいます。では、再開発で川崎駅西口はどのような変化を遂げたのか見てみましょう。

まちづくり事例だよ！

1984年
(昭和59年)
ごろの西口写真



今から20年以上前、上の写真のころは、川崎駅西口駅前やその周辺に工場や住宅が集まっている様子が分かります。

やがて、工場が別の場所に移ったり、ものづくりをやめてしまったりして土地が空き、そこに商業ビルや高層マンションを建てたり、その工事を進めているのが下の写真です。2つを比べてみると、まちが大きく変化しているのがわかります。このように再開発によってまちは生まれ変わっていくのです。

2007年
(平成19年)
の西口写真



●川崎駅西口再開発の目玉はミュージア川崎

2004年(平成16年)7月に「ミュージア川崎シンフォニーホール」という音楽ホールができました。この大きなホールではおよそ2000人の人たちが演奏を聞くことができ、有名な音楽家がすばらしい演奏を披露しています。川崎市のセールスポイントは「音楽のまち・かわさき」ですが、そのシンボルとなり、多くの人が集まっています。

またミュージアの反対側に、もう一つ大きな商業施設や高層マンションなどを建てる工事が進んでいます。「ラゾーナ川崎プラザ」と名づけられたビルには、家電量販店、書店、スポーツクラブ、映画館などたくさんのお店がオープンしました。川崎駅西口は、ますます多くの人びとが集まるようになり、いつもにぎわっています。

トピックス2 「夢こんさあと」を支えている人たち

「身近な区役所でだれもが楽しめるコンサートを。」そんな思いから、1996年(平成8年)、地域の人たちが中心となって、幸区役所で初めてのコンサートを開きました。それは、今では区役所と地域の人が協力しあって行う「夢こんさあと」として親しまれています。



2004年(平成16年)からは、日吉出張所でもコンサートを定期的に行うほか、区内のさまざまな場所へ出前コンサートも行ようになりました。50回目の記念コンサートは、ミュージア川崎シンフォニーホールで行いました。これからも、まちと音楽を愛する人たちがつづけていきます。

まちづくり事例だよ!